

[成果情報名]利用範囲の広いキャットミント優良系統の選抜

[要約]既存品種の自家受粉により育成した実生苗の中から草姿、開花期、花色、葉色などの点で元株より優良な形質のある3系統を選抜した。そのうち2系統は、コンパクト性に優り、1系統は耐倒伏性に優る特性を有する。

[キーワード]キャットミント、自家受粉、草姿、開花期

[担当]山梨総農試・生物工学部・応用開発科

[連絡先]電話 0551-28-2411、電子メール seibutsu@pref.yamanashi.lg.jp

[区分]関東東海北陸農業・生物工学

[分類]技術・普及

[背景・ねらい]

キャットミントは、開花期間が長く、栽培も容易な品目であるが、利用範囲を広げるためには既存品種の草姿、開花期など点を改善する必要がある。そこで、交雑育種を利用して花壇用や景観形成用の優良系統を選抜、育成する。

[成果の内容・特徴]

1. 優良系統の品種特性

既存品種（対照）の自家受粉により得られた実生285個体の中からコンパクトな系統として「15-S2」と「15-S3」を、耐倒伏性が強い系統として「15-S6」を選抜した。

1) 「15-S2」の特性（表1）

- ・草姿は、株張り、草丈とも小さく、コンパクトである。
- ・開花は、8日ほど早い。
- ・花色は、濃い紫色であり、葉色も濃い。

2) 「15-S3」の特性（表1、写真1）

- ・草姿は、株張り、草丈とも小さく、コンパクトである。
- ・開花は、13日ほど早い。
- ・花色は、薄い極淡紫色で、葉色も淡い。
- ・茎がしっかりしていて耐倒伏性が強い。

3) 「15-S6」の特性（表1、写真2）

- ・草姿は、ほぼ同等である。
- ・開花は、2日ほど早い。
- ・分枝数が多い。
- ・直立性で耐倒伏性が強い。

2. 優良系統の栽培概要（図1）

圃場での栽培：秋挿しの場合は、苗を4月に定植すると5月から10月まで開花する。

11月に刈り込みを行うと、翌年3月に萌芽、5月から開花する。

繁殖：春挿しと秋挿しがある。春挿しは、5～6月、秋挿しは9～10月が適する。

[成果の活用面・留意点]

1. 開花が終わった花からは、花穂ごと早めに除去すると整った草姿が保たれる。
2. 梅雨時の高温多湿によるムレには弱いですが、刈り込むと草勢は回復する。

[具体的データ]

表 1 2次選抜した3系統の主要な生育・開花特性¹⁾

系統番号	開花開始日 (月日)	株張り (cm × cm)	草丈 (cm)	草 姿	分枝数 (本)	花色	葉色	耐倒 伏性
15-S2	5.11	48 × 45	31.3	コンパクト	5.5	紫	濃	同
15-S3	5.6	45 × 44	30.8	コンパクト	4.7	極淡紫	淡	強
15-S6	5.17	60 × 58	50.2	同 ²⁾	8.6	淡紫	同	強
対照	5.19	63 × 60	53.1	-	7.2	淡紫	-	-

1) 試験は本場圃場（甲斐市下今井）で行い、調査は満開時（5月～6月）に実施した

2) 「同」とは、対照と同等



15-S3

対照

写真1 「15-S3」の草姿

15-S6

対照

写真2 「15-S6」の草姿

項目 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
圃場の 栽培												
繁殖												
春挿し												
秋挿し												
											(加温)	

図 1 平坦地での栽培概要

注) - 定植 - 開花 - 刈り込み - 萌芽 - 挿し芽 - 鉢上げ

[その他] 研究課題名：山梨ブランドの確立に向けた品種育成

1. キャットミント優良系統の育成

予算区分：県単

研究期間：2003～2005年度

研究担当者：雨宮圭一、窪田浩一、外川高雄、藤木俊也、加藤成二